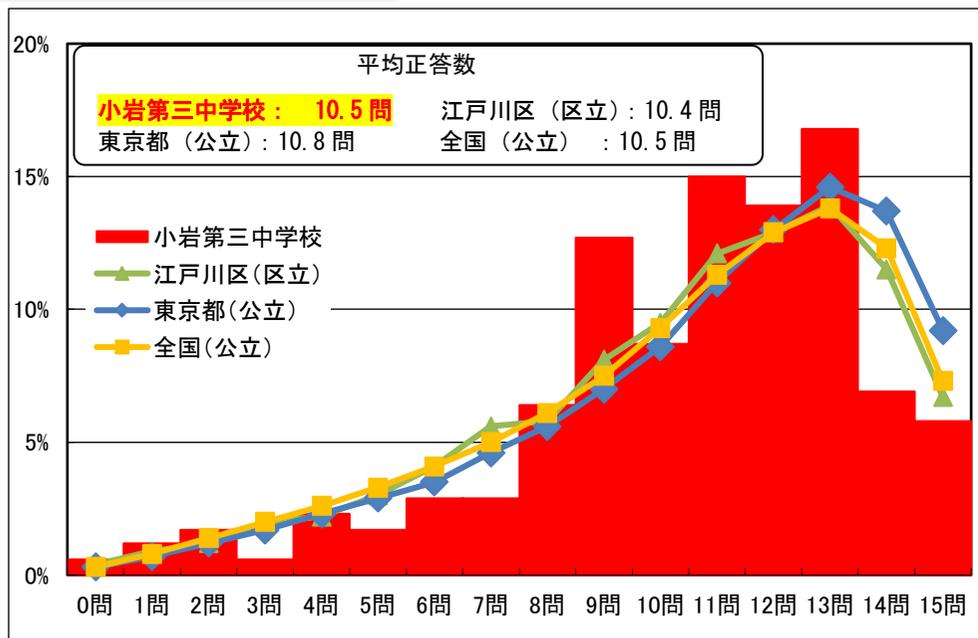
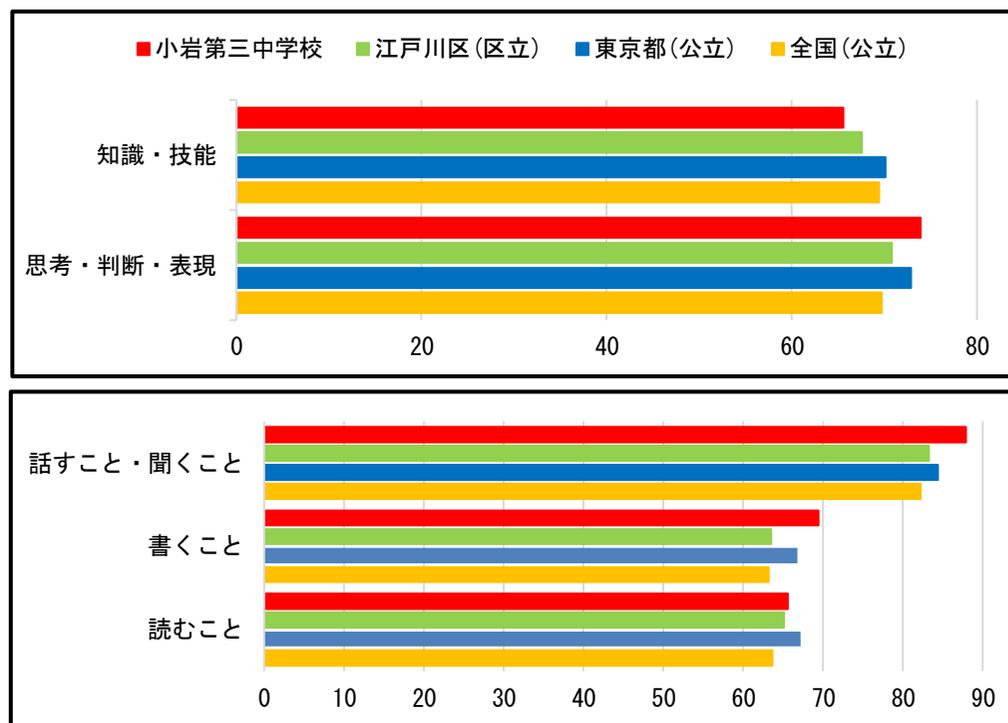


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小岩第三中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
小岩第三中学校	29.5	13.9	36.4	20.3
江戸川区(区立)	18.2	26.8	29.7	25.3
東京都(公立)	22.9	27.6	26.6	22.9
全国(公立)	19.6	26.7	28.1	25.6

【平均正答率の差】

小岩第三中学校	70%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	-2ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

本調査の領域別結果を見ると、ほとんどの項目では東京都や全国の結果を上回っているものの、「知識・技能」の領域において、芳しくない結果が見られた。

本調査結果の改善に向けて、漢字や語句を正しく用いる態度と習慣を養う授業の充実を図りたい。本校の三学年の生徒は字形のくずれや語句の用法を誤りが目立つ。授業の中では書く活動を通して、「正しく書く」習慣を身に付けさせていきたい。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

%